

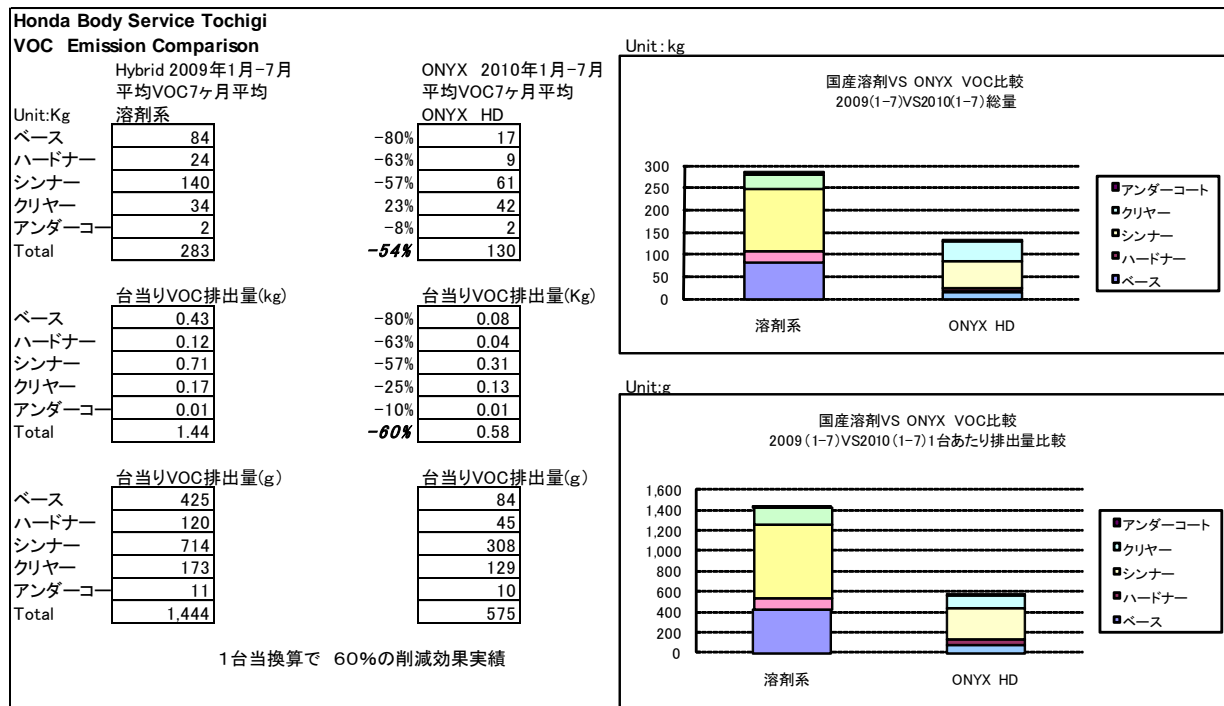
平成22年度揮発性有機化合物（VOC）対策功労者の取組報告書

部門	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的取り組み・規制関連部門 又は <input type="checkbox"/> VOC対策推進部門
企業又は団体名	株式会社 ホンダボディサービス栃木
事業所名	—
事業所の概要	自動車板金塗装
事業所の所在地	〒321-0911 栃木県宇都宮市問屋町 3172 番地 37
担当部署	—
取組の名称	自動車補修塗料の水溶性によるVOCの削減
取組の概要 (要旨)	2009年7月に水性補修塗料（ONYXHD）を導入、約1ヵ月で使用率100%を達成（溶剤塗料は廃棄）。クリヤーコートにもECのVOC規制対応製品を導入し、溶剤使用時から約60%のVOC排出量を削減、継続している。また、水性塗料導入をきっかけとして、地方自治体と連携、一般市民や子供達に水性塗料やVOCの啓蒙活動も実施している。また、技術力の向上によるVOC削減も実施。その技術力は塗料メーカーBASF主催の塗装大会（2010年9月）で優勝する等、技術力の高さも削減に大きく貢献している。
取組の内容	<p>1. 背景</p> <p>2006年の改正大気汚染防止法施行後、新車塗装に関する環境塗料化（水性化）は進んでいるが、自動車補修に関しては平成20年度で約7%と他の塗装分野に対して遅れている。</p> <p>2. 目的</p> <p>弊社としては先んじて水性塗料を導入、100%にする事により、いち早く環境対応塗料に慣れ親しみ、環境を第一としたCSRを実践していきたいと考え実施した。</p> <p>3. 取組内容</p> <p>① 水性塗料導入によるVOC削減効果（カラーベースにて90%、濃縮クリヤーを使用する事により、全体で約60%のVOC削減に成功）</p> <p>②. 水性塗料導入をきっかけとして、地方自治体、地元メディアと連携して、地域住民や一般カーオーナーに対し、VOC問題とは何か、VOCとは何か、一般の方に理解していただけるイベントを各種実施、継続している。</p> <p>③技術教育により、無理、ムラ、無駄の削減を追及。その結果として、</p>

	塗料メーカーが開催した水性塗装技術を競う世界大会(2010年9月7～9日フランスパリ近郊にて開催)で初参加、初優勝を獲得した。																												
取組の効果																													
1 VOC取扱量等	<p>■VOC削減効果の実績</p> <table border="1"> <tr> <td>平成12年度</td> <td>取扱量</td> <td>6994kg</td> <td>排出量</td> <td>4467kg</td> <td>排出率</td> <td>64%</td> </tr> <tr> <td>平成19年度</td> <td>〃</td> <td>4740kg</td> <td>〃</td> <td>3508kg</td> <td>〃</td> <td>74%</td> </tr> <tr> <td>平成20年度</td> <td>〃</td> <td>4625kg</td> <td>〃</td> <td>3404kg</td> <td>〃</td> <td>74%</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>〃</td> <td>4537kg</td> <td>〃</td> <td>2612kg</td> <td>〃</td> <td>58%</td> </tr> </table> <p>平成21年度8月より完全水性塗料化後、5ヶ月で58%の削減 平成22年1月～7月実績で、対前年比60%の削減効果があり、 全面切り替え完了で、年間約68%(平成12年比)の削減効果(購入量から概算比較)が期待できる。</p> <p>■数値以外で示すVOC削減効果の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臭気の低減により作業員から、体調の変化(良好に)、あるいは食事が美味しく感じる様になったとの声があり、総じて歓迎されている。 ・水性塗料を軸とした、環境問題の取組みはPR効果も高く、一般の方や、お子様、小学生を招いての工場見学なども安心して行えるようになり、取組の必要性を率直にご理解いただけた。 <p>■取組の困難さ、斬新さ、応用性・汎用性、コストパフォーマンス等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状、水性塗料を100%使用して補修を行なっている業者は非常に限られている。一般的には水性塗料は乾燥時間が長くなり、作業性の低下を招くと言われていたが、採用した塗料の信頼性と、塗装者への適切な指導、教育があり違和感なく溶剤から水性塗料へ変更する事が可能であった。またその効果はVOC削減のみならず、従業員の作業環境改善による気持ちの変化からの効果も大きいと考えている。 	平成12年度	取扱量	6994kg	排出量	4467kg	排出率	64%	平成19年度	〃	4740kg	〃	3508kg	〃	74%	平成20年度	〃	4625kg	〃	3404kg	〃	74%	平成21年度	〃	4537kg	〃	2612kg	〃	58%
平成12年度	取扱量	6994kg	排出量	4467kg	排出率	64%																							
平成19年度	〃	4740kg	〃	3508kg	〃	74%																							
平成20年度	〃	4625kg	〃	3404kg	〃	74%																							
平成21年度	〃	4537kg	〃	2612kg	〃	58%																							
2 取組の特徴																													
本件についての照会先	株式会社 ホンダボディサービス栃木 E-mail : admin.ztg00@honda-auto.ne.jp																												

添付資料

実績グラフ



イベント風景

